

## 令和元年度「文化財等防災ネットワーク研修」実施要項

1. 日程 令和元年 11 月 6 日（水）～11 月 7 日（木）
2. 場所 〒630-8577 奈良市二条町 2-9-1  
独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 本館 4 階 研修用実験室
3. 受講対象 都道府県および市町村教育委員会等の文化財担当者、博物館・美術館等の学芸員
4. 定員 16 名
5. スケジュール

1 日目： 11/6（水）	13：00～14：00	開講あいさつ、自己紹介と課題共有 ※9. 欄をご確認ください	司会：中島志保（奈良文化財研究所）
	14：00～14：30	文化財防災ネットワークについて（講義）	高妻洋成（奈良文化財研究所） 中島志保（奈良文化財研究所）
	14：30～14：40	休憩	
	14：40～15：40	水損紙資料の微生物被害と応急処置（講義）	佐藤嘉則（東京文化財研究所）
	15：40～15：50	休憩	
	15：50～16：50	被災した民俗資料の応急処置（講義）	日高真吾（国立民族学博物館）

2 日目： 11/7（木）	9：00～10：00	被災した写真資料の応急処置（講義）	白岩洋子（白岩修復工房）
	10：00～12：30	水損紙資料のレスキュー①（講義） 紙資料の水洗と乾燥（実習）	長友馨、板倉正子、上村浩美 （NPO 法人 書物研究会*）
	12：30～13：30	休憩	
	13：30～15：20	水損紙資料のレスキュー②（講義） 泥落とし、水損書籍の対処（実習）	長友馨、板倉正子、上村浩美 （NPO 法人 書物研究会*）
	15：20～15：30	休憩	
	15：30～15：50	意見交換	中島志保（奈良文化財研究所）
	15：50～16：00	閉講あいさつ	

※NPO 法人 書物の歴史と保存修復に関する研究会

### 6. 申し込み方法

別紙「申込書」に必要事項を入力または記入し、申込書送付先までお送りください。  
定員を設けていますので、受講の可否についてはお申し込みいただいたすべての方へ、  
申込締切後 9 月 12 日（木）までに、メールにてご連絡いたします。

申込書送付先：メール bosai@nabunken.go.jp ファックス 0742-30-6846

申込締切日：令和元年 9 月 6 日（金）

受講可否連絡：申込締切後 9 月 12 日（木）までに、メールにて連絡

次ページに続く

## 7. 受講料

受講料は無料です。ただし交通や宿泊等は、各自で手配、負担ください。

## 8. 服装等

研修 2 日目は実習が中心になりますので、作業着等の動きやすく汚れてもよい服装でお越しください。

## 9. 自己紹介と課題共有について

1 日目の自己紹介の際、ご自身の所属や地域において文化財の防災はどのように考えられているかや、課題だと感じていらっしゃる、何か具体的な取り組みが進められているようでしたらそれについてなど、おひとり 3 分程度でご紹介いただけたらと思います。具体的な取り組みはこれからという場合は、もちろんそのようにおっしゃっていただいてもかまいません。

この機会に受講生の皆さまと文化財防災に関わる課題を共有し、本研修を通じて意見交換や各地域の取り組みを共有すること、ネットワークのあり方などを考えることが目的です。

また、他の受講生の皆さまに配布してもよい文化財防災に関わる資料がありましたら、ぜひ当日ご持参ください。

## 10. その他

- ・ 修了証等の発行はありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ ご不明な点がありましたら、下記担当者までご連絡をお願いいたします。

### ※本研修と文化財担当者研修との違いについて

本研修と、令和 2 年 2 月に開催予定の文化財担当者研修「文化財防災・減災課程」の内容は異なります。

2 月の研修の内容は以下のとおりです。

平時からの古墳管理の充実や復旧作業の迅速化による装飾古墳の防災・減災に向けた取り組みや課題についての講義、また、地震・火山噴火災害痕跡の調査・記録法、それらを集成した「全国歴史災害痕跡データベース」の構築・公開に向けた取り組みについての講義を通じた、近年の文化財防・減災に向けた意義や、その取り組みについての基礎知識の習得

### 【担当者連絡先】

奈良文化財研究所 保存修復科学研究室  
高妻洋成・中島志保

TEL : 0742-30-6847

FAX : 0742-30-6846

e-mail : bosai@nabunken.go.jp